

CONTENTS

納税者の皆様へ 1

I 国税庁について 5

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 1 国税庁の組織理念 5 | (5) 税理士業務の適正な運営の確保 8 |
| 2 税務行政の運営の考え方 7 | (6) 実績評価(政策評価)と税務行政の改善 8 |
| (1) 納税者サービスの充実 7 | 3 国税組織の概要 9 |
| (2) 行政事務の効率化の推進と組織基盤の充実 7 | (1) 国の収入と税 9 |
| (3) 適正・公平な課税・徴収及び納税者の権利救済 8 | (2) 国税庁の予算 9 |
| (4) 酒類行政の適正な運営 8 | (3) 国税庁の機構・定員 10 |

II 税務行政のデジタル・トランスフォーメーション 11

- | | |
|---------------------------|--|
| 1 納税者の利便性の向上 11 | 3 事業者のデジタル化促進 12 |
| 2 課税・徴収の効率化・高度化等 11 | コラム1 取引から会計・税務までのデジタル化(デジタルシームレス)の普及に向けて 13 |

III 納税者サービスの充実と行政効率化 14

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1 e-Tax(国税電子申告・納税システム) 14 | 7 内部事務のセンター化 23 |
| コラム2 e-Taxの利便性向上 15 | 8 情報提供等 24 |
| 2 確定申告 16 | (1) 国税庁ホームページ 24 |
| (1) 自宅からのe-Taxによる申告の推進 16 | (2) 租税教育 26 |
| (2) 多様な納税者ニーズへの対応 17 | (3) 講演会 28 |
| 3 キャッシュレス納付の推進 18 | (4) 説明会 28 |
| 4 マイナンバー制度への取組 20 | (5) 税務相談 28 |
| (1) マイナンバー制度の概要 20 | (6) 事前照会 30 |
| (2) マイナンバー制度への対応 20 | コラム3 令和6年能登半島地震への対応 30 |
| 5 行政サービスのデジタル化の推進 22 | 9 インボイス制度の円滑な定着に向けた取組 31 |
| 6 情報の厳正な管理 23 | 10 関係民間団体との連携・協調 32 |

IV 適正・公平な課税・徴収 34

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1 適正・公平な課税の推進 34 | (4) 公売の実施 41 |
| (1) 調査において重点的に取り組んでいる事項 34 | (5) 的確かつ効率的な債権債務の管理 42 |
| (2) 調査以外の手法の活用 36 | 3 消費税不正還付への対応 42 |
| (3) 資料情報 37 | (1) 消費税還付申告税額の現状 42 |
| (4) 査察 37 | (2) 消費税不正還付に対する取組 42 |
| 2 確実な税金の納付 39 | コラム4 輸出品物販売場制度の見直し(リファンド方式への見直し) 45 |
| (1) 自主納付態勢の確立 39 | 4 国際的な取引への対応 45 |
| (2) 滞納の整理促進への取組 39 | (1) 国際的な租税回避等に対する取組 46 |
| (3) 集中電話催告センター室 41 | |

(2) 富裕層や海外取引のある企業への対応等	51	(2) OECDアジア太平洋租税・金融犯罪調査アカデミー	53
5 各国税務当局との協力	52	(3) 税務行政が直面する問題解決に向けた各国間の協力	53
(1) アジア諸国を中心とした開発途上国への技術協力	52		

V 権利救済 54

(1) 再調査の請求	55	(3) 訴訟	55
(2) 審査請求	55	(4) 権利救済の状況	56

VI 酒類行政 57

1 酒類業界の状況	57	コラム5 ユネスコ無形文化遺産「伝統的酒造り」	60
(1) 国内市場の状況	57	(3) 技術支援	60
(2) 日本産酒類の輸出の状況	58	(4) 中小企業対策	60
2 国税庁の取組	58	(5) 酒類の公正な取引環境の整備	61
(1) 海外市場の開拓(輸出促進)	58	(6) 社会的要請への対応	61
(2) ユネスコ無形文化遺産「伝統的酒造り」の周知広報に関する取組	59		

VII 税理士業務の適正な運営の確保 62

1 税理士の業務と役割	62	(2) 書面添付制度の推進	63
2 税理士会等との連絡協調	62	3 税理士等に対する指導監督の的確な実施	63
(1) 税理士の業務のデジタル化	62		

VIII 実績評価(政策評価)の実施 64

(1) 実績評価の目的	64	(3) 実績目標等の評価方法・評価結果	64
(2) 国税庁の使命・任務と実績評価の目標体系	64		

IX 資料編 66

○ 租税収入・予算	66	○ 滞納状況	68
○ 申告・課税状況	66	○ 査察	68
○ 調査状況	67	○ 権利救済	69
○ 国際課税	68	○ 税務相談	69

※本文中の「○年度」は会計年度を示し、「○事務年度」は○年7月から翌年の6月末までの期間を示しています。